

「第7回マルチGNSSアジアカンファレンス」参加報告

第7回マルチGNSSアジア（以下、MGA）カンファレンスが、2015年12月7日～10日、ブルネイ・ダルサラームにて開催されました。アジア・オセアニア地域は、世界でいち早く多くの次世代衛星測位が利用でき、衛星測位の性能向上が期待される地域です。MGAは、アジア・オセアニア地域におけるマルチGNSSの利用実証実験を推進し、PNT(衛星測位、航法、時刻)サービスの活用を推進し普及することを目的としています。

カンファレンスでは、各国の衛星測位システムのアップデート状況の情報共有の他、「精密測位」「防災・減災」「ITS」「LBS」のグループに分かれての、実証実験の報告と議論が行われました。当社は、高標高での準天頂衛星の精度検証に関する発表を行いました。

今回のカンファレンスでは、欧州が推進するGalileo関連の話題の多さが特徴的でした。また、各国の電子基準点網の整備の話題や、スプーフィング（なりすまし）・ジャミング（信号妨害）等の信号信頼性に関する議論が活発に行われ、実用化に向けての具体的な課題提起が成され、アジア・オセアニア地域での積極的な取り組みを感じました。

カンファレンス終了後には、今回のMGAの誘致企業であるSoartech Systems Sdn Bhd（以下、ソアテック）と低緯度地域でのマルチGNSS測位の共同実証実験を実施しました。国立研究開発法人 宇宙航空研究開発機構（以下、JAXA）のご協力も得て、静止測位、車載での移動測位を行っており、今後、取得したデータを基に電離層活動が活発な低緯度地域での電離層遅延による測位影響や、日本とは異なる衛星配置による測位影響等の分析を行う予定です。

当社は今後も継続的な技術研究を行いながら、製品開発並びに技術の普及活動に努めてまいります。

【第7回マルチGNSSアジアカンファレンス及び実証実験の様子】



ブルネイ開発副大臣への記念品贈呈



MGAカンファレンスでの当社発表風景



ソアテック、JAXAとの共同実証実験風景

【免責とお断り・注意事項】

本通信及び弊社ホームページの記事事項は、株主・投資家の皆様おお客様に対し、迅速な情報公開・提供を目的とし、投資勧誘を目的としているものではありません。掲載内容により被った損害について、弊社は一切の責任を負いかねます。